

『東アジア日本語・日本文化研究』掲載論文の取り消しについて

2023年8月9日、『東アジア日本語・日本文化研究』第28集特別号（2020年）に掲載されている論文「ブラジル日系移民社会における「コロニア語」についての一考察 — 『コロニア小説選集』に見られるアイデンティティを分析して—」に研究不正の疑義があるとの通報が九州大学研究不正通報窓口にありました。

これを受けて、同年10月10日に九州大学に研究不正調査部会が設置されて調査が行われた結果、当該論文は記述の中に剽窃箇所があり、不正行為を含むとの最終的な判断が2024年5月17日に下されました。（なお、『東アジア日本語・日本文化研究』を刊行していた東アジア日本語・日本文化研究会は2021年3月に解散しており現在上記雑誌は刊行されていませんので、この研究会を母体として、2021年10月に新体制の執行部、編集委員会を擁して発足した東アジア言語文化研究会事務局長が上記の通告を受けたものです。）

その後、この件は東アジア言語文化研究会執行部に報告され、慎重に審議された結果、当該論文の掲載を取り消すことが妥当であるとの判断に至りました。よって、上記論文は『東アジア日本語・日本文化研究』の論文として無効となり、以後引用することはできませんのでご注意ください。

2024年6月18日

東アジア言語文化研究会会長 松村瑞子